

解答用紙 1

問 1	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 2	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 3	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 4	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 5	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 6	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 7	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 8	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 9	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 10	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 11	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 12	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 13	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 14	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 15	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 16	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 17	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 18	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 19	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 20	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)

問 21	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 22	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 23	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 24	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 25	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 26	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 27	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 28	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 29	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 30	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 31	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 32	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 33	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 34	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 35	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 36	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 37	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 38	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 39	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 40	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)

問 41	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 42	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 43	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 44	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 45	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 46	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 47	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 48	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 49	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 50	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 51	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 52	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 53	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 54	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 55	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 56	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 57	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 58	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 59	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 60	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)

問 61	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 62	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 63	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 64	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 65	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 66	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 67	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 68	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 69	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 70	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 71	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 72	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 73	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 74	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 75	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 76	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 77	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 78	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 79	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
問 80	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)

解答用紙 2

<問題A 記入例>

貞観大噴火は、平安時代初期の864年から2年間続いた有史以来の富士山の噴火で最大規模の噴火活動である。富士山の北西斜面から割れ目噴火が発生し、長尾山を形成させた。溶岩流は、この地にあった「せの海」の大半を埋没させ、精進湖と西湖ができ、本栖湖も大きく形が縮小した。この溶岩流によってそれ以前にこの地にあった植物は全滅したが、その後1000年以上の時を経て溶岩流の上に再生した森林が青木ヶ原樹海である。

<問題B 記入例>

富士山の噴火については、様々なケースが考えられ、次にどこを噴火口にしてどのような噴火が発生するかは分かっていない。宝永噴火のように噴煙を高くあげる噴火の場合、火山灰が富士山周辺や首都圏まで降り積もり、農産物への被害や、交通網への影響が懸念される。また積雪時に頂上付近で火砕流が発生した場合、雪が一気に溶けて泥流がおこる可能性も指摘されている。過去の噴火災害の研究から、富士山の噴火災害が起こる可能性の範囲を示したハザードマップが作られ、周辺自治体で配布されている。

<問題C 記入例>

選んだ構成資産：村山浅間神社

静岡県富士宮市に位置する村山浅間神社は「信仰の対象」として富士山の普遍的価値を表す要素として構成資産となっている。12世紀の僧である末代上人によって建立されたとされ、以降修験道の中心地となっていた。明治の神仏分離令までは神仏習合の宗教施設として興法寺と呼ばれていた。文化財保護法の下に他の文化財とともに史跡富士山として指定され保護されている。

選んだ構成資産：船津胎内樹型

静岡県富士宮市に位置する船津胎内樹型は「信仰の対象」として富士山の普遍的価値を表す要素として構成資産となっている。江戸時代初期に長谷川角行が富士登拝した際、北麓に洞穴を発見し、浅間大神を祭り、その後富士講信者により船津胎内樹型に遷宮された。洞穴奥には、木花開耶姫などが祀られている。史跡名勝天然記念物保護法の下に天然記念物に指定され、また国立公園法の下に国立公園に指定され保護されている。